

事業評価シート【新規事業-1】

事業名	収蔵品等管理費			基本計画	章	1	総合戦略	基本目標	
事業コード					節	6		施策の方向	
課係名	美術館・郷土資料館	内線			項	3		施策	
担当者氏名		職名			細項目			整理番号	

事業概要	平成28年、茂原長柄スマートインターチェンジ設置事業に伴い、国府関地区の発掘調査が実施され、その結果、古墳時代前期の井戸や、弥生時代の方形周溝墓、溝状遺構等集落の一部が検出された。遺物も古墳時代初頭の建築材、農耕具、祭祀具等木製品63点と、古墳時代前期を中心に多くの土器も多く出土した。スマートインターチェンジの完成に伴い、これら出土遺物を展示するため、水浸けで保存されている木製品63点のうち11点を保存処理し、展示に耐えうる状態にする。
------	--

現在の課題や市民要望など	文化財や茂原の歴史に対する理解を深めるために、大量に水浸け保存されている木製品のうち、特に公開すべき資料について保存処理を施し、郷土資料館で展示することが課題となっている。
--------------	--

事業目的	① 水浸けで保存されている木製品63点のうち、特に重要な建築材・農耕具・祭祀具・容器等木製品11点の保存処理を実施する。保存処理方法は、11点全て真空凍結乾燥法で行い、専門業者に委託する。
	② 茂原長柄スマートインターチェンジの完成後、すみやかに郷土資料館で国府関遺跡出土の文化財を展示公開する。
	③
	④

個別取組	① 保存処理業務委託契約業務	② 郷土資料館展示計画立案
	③ 郷土資料館での展示	④

事業による改善・変更点	① 古代の遺跡関連文化財の展示の充実	②
	③	④

事業対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人・世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体(民間) <input checked="" type="checkbox"/> 団体(公共) <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> その他 ()
------	---

内容	① 保存済み文化財の公開	② 学芸員による展示説明対応
	③ 保存済文化財の保管管理	④

業務形態	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 負担金・交付金 <input type="checkbox"/> その他 ()
------	--

内容	① 保存処理業務の専門業者への委託	② 保存処理済文化財の郷土資料館での展示
	③	④

支出根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	法令要綱等名称	① 博物館法第3条	② 美術館・郷土資料館管理条例第4条
			③	④

事業継続	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度:無期	後年度負担	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	<input type="checkbox"/> 複数年度:有期[始期 ~ 終期]	内容	

事業費の積算	2年度	保存処理費 全11点 1,800,000円	事業費	1,980,000	事務スケジュール	年月	内容
		消費税 180,000円	国 県			2/7	保存処理業務委託契約
		合計 1,980,000円	市 債			2/9	保存処理開始
			その他			2/10	令和3年度展示計画立案
			一般財源	1,980,000		3/3	保存処理終了
			事業費			3/4	展示
			国 県				
			市 債				
			その他				
			一般財源	0			
			事業費				
			国 県				
			市 債				
			その他				
			一般財源	0			

経費節減効果	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	節減効果の内容
金額	千円	

主要指標	活動指標	指標の種類	計算方法	目標(推計)値		
		名称		2年度	3年度	年度
	成果指標	① 保存処理契約業務	契約金額	業務委託契約		
		②				
成果指標	① 保存処理済文化財展示業務	展示数	令和3年度展示実施計画立案	保存済文化財の展示		
	②					

事業評価シート【新規事業-2】

項目別評価	1. 実施主体・目的の妥当性		<ul style="list-style-type: none"> ・自治体が関与すべき事業か。民間で実施できないか。 ・総合計画における目的に合致するか。課題解決に結びつくのか。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. 妥当である B. 改善する余地がある C. 妥当ではない	茂原市の事業で実施しているスマートインターチェンジ設置事業に伴う発掘調査の成果であり、自治体が関与すべき事業である。また、文化財を展示公開できる市内の施設は郷土資料館以外にない。
	2. 事業の有効性		<ul style="list-style-type: none"> ・意図した成果は確実に得られるか。 ・類似の目的を持つ事業はないか。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. 有効である B. 改善の余地がある C. 有効ではない	国府関遺跡は、日本を代表する遺跡の一つで、県内でも木製品が数多く出土している地域でもある。スマートインターチェンジ事業と関連付けて展示公開すれば、相乗効果が見込まれる。
	3. 事業の効率性		<ul style="list-style-type: none"> ・成果を維持したまま費用を削減する余地はあるのか。 ・将来的なコストの増加・増大の要因はあるか。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. 効率的である B. 改善の余地がある C. 効率的ではない	単年度での事業なので将来的なコストの増加はない。
	4. 緊急性		<ul style="list-style-type: none"> ・今実施しなければならない理由。 ・実施しない場合の問題点。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. すぐに実施する必要有 B. 2~3年後に実施する必要有 C. すぐに実施する必要はない	上記2「事業の有効性」により、スマートインターチェンジの完成に伴って実施する必要がある。
	5. 市民要望・公平性		<ul style="list-style-type: none"> ・どういう市民要望があるのか。 ・受益者負担は適正か。 ・公平性の点から受益の偏り(特定の地域や個人等)はないか。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	C	A. 多くの市民要望有 B. 一部地域・団体等の要望有 C. 要望はない	遺跡から出土した文化財については、専門的な分野であることから、市民からの要望は少ない。しかし、多額の予算を投じて発掘調査を実施してきたことから、発掘調査の成果を公開し活用する責務がある。
	6. 同規模他市・周辺市町村の状況		<ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどの自治体で実施、同規模以上の自治体は実施、ほとんど実施していないが先進的な取り組みであるなど、具体的に記述
	遺跡からの出土品のうち、特に原型をとどめているなど一般公開する価値のあるものについては、どの博物館、資料館においても展示に向け準備し、順次展示するよう努めている。		

総合評価	■実施計画における位置づけ、財政状況による実現性		
	評価	◎評価理由	
	C	A. 実施 B. 一部実施 C. 実施しない	基本計画において、文化財の保護保存の施策として該当するが、事業の有効性及び緊急性に疑問があり、財政的にも厳しい状況であるため、見送るものとする。
	■政策調整会議による評価		
	評価	◎評価理由	
	A	A. 実施 B. 一部実施 C. 実施しない	文化財の保護保存の観点やスマートインターチェンジの開通と併せた記念事業としても効果的であることから事業を実施するものとする。ただし、保存処理の点数を考慮する余地がある。
■庁議による方針			
評価	具体的な方向性		
B	A. 実施 B. 一部実施 C. 実施しない	担当課の提案通り実施するものとする。ただし、保存処理数を精査し、事業を縮小するとともに、予算の範囲内で実施するものとする。	